

# 令和5年度 学校マネジメントシート

学校名 ( 木本高等学校 定時制 )

## 1 目指す姿

(1) 目指す学校像		<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分の良さを伸ばしながら、目標や夢の実現に向けて努力を続ける生徒を育成します。</li> <li>○地域に誇りを持ち社会に役立つ人を育み、「地域に信頼される学校」をめざします。</li> </ul>
(2)	育みたい 児童生徒像	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自分への自信と誇り、他者への思いやりの心と規範意識を持ち、学習に積極的に取り組む生徒。</li> <li>○地域に誇りや愛着を持ち、地域に信頼され、地域に貢献する力を持った生徒。</li> </ul>
	ありたい 教職員像	<ul style="list-style-type: none"> <li>○目指す学校像の実現に向け、連携の意識と向上心を持ち、自分の良さを活かして仕事をする教職員。</li> <li>○生徒の状況を理解し、それぞれの生徒に合わせた一人ひとりを大切にする指導をする教職員。</li> </ul>

## 2 現状認識

(1) 学校の価値を提供する相手とそこからの要求・期待		<ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒・保護者 仕事や家庭と学校生活を両立しながら安心して学習し、学力と社会性を身につけ、高校卒業資格を得たい。</li> <li>○地域社会 すべての生徒が安心して学べる場を確保し、地域に貢献する人材を育ててほしい。</li> <li>○進路先 基礎学力、コミュニケーション力、自主性、規範意識を持った人材を育ててほしい。</li> </ul>	
(2) 連携する相手と連携するうえでの要望・期待		<p style="text-align: center;">連携する相手からの要望・期待</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○保護者 学力と社会性を身につけ、高校卒業資格を取らせたい。</li> <li>○中学校 多様な生徒の学びの場として、一人ひとりを大切にする教育を行ってほしい。</li> <li>○地域社会 すべての生徒の学ぶ場を確保する意味でも、教育活動を継続してほしい。</li> </ul>	<p style="text-align: center;">連携する相手への要望・期待</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○保護者 緊密な連絡・協力体制づくりに協力してもらいたい。</li> <li>○中学校 生徒に関する情報提供等、指導への支援、協力をしてもらいたい。</li> <li>○地域社会 外部講師、情報提供等、教育活動への支援、協力をしてもらいたい。</li> </ul>
(3) 前年度の学校関係者評価等		<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒が安全で安心して学校生活を送れるようにしてほしい。</li> <li>・木本高校定時制の魅力を地域に積極的に発信してほしい。</li> <li>・1人1台端末を積極的に活用し、授業改善を図ってほしい。</li> </ul>	
(4) 現状と課題	教育活動	<p>様々な課題、背景をもつ生徒が学んでおり、引き続き生徒一人ひとりに合わせた丁寧できめ細かい指導が必要である。また、他校からの転入生も数名おり、在学期間が短く、学校への帰属意識や仲間意識が低い生徒も多い。</p> <p>命を大切にする教育と生活習慣の育成を起点にしながら、生徒の成長の基盤となる自己肯定感を高めていく必要がある。</p> <p>生徒個々の状況把握に努め、一人ひとりの良さを引き出し伸ばしながら基礎学力の定着を図るとともに、安全・安心な学習環境の確保と集団への帰属意識・仲間づくりの取組もすすめる必要がある。</p>	
	学校運営等	<p>生徒、教職員ともに少人数で、生徒一人ひとりに合わせた教育活動を行いやすいが、集団として活動し、社会性を育むには工夫が必要である。</p> <p>生徒一人ひとりの課題や背景がさらに多様化し、日々の状況把握と情報共有が必要不可欠であるため、教員定数を確保するとともに、生徒の変化に気づけるよう教職員の感度を高めていく必要がある。</p>	

### 3 中長期的な重点目標

教育活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 学習・修学意欲を高め、基礎学力の定着を図り、生徒の希望進路の実現を目指します。</li> <li>○ 学校や社会で生活するために大切な規範意識と社会性を育みます。</li> <li>○ 様々な教育活動を通して、本校への帰属意識と仲間意識が醸成されるよう働きかけます。</li> </ul>
学校運営等	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生徒一人ひとりを大切にする教育活動を充実する体制をつくります。</li> <li>○ 地域との交流や地域の声を聞く機会を持つなど、開かれた学校づくりを目指します。</li> <li>○ 業務の効率化を図り、職員の健康管理面に配慮し、総勤務時間の縮減を図ります。</li> </ul>

### 4 本年度の行動計画と評価

#### (1) 教育活動

項目	取組内容・指標	結果	備考
命を大切にす る教育と生活 習慣の育成	<p><b>【命を大切にす る教育】</b></p> <p>(1) 生徒一人ひとりの状況を把握し、教員間で共有します。 (指標：個人面談等の実施、会議等での情報共有)</p> <p>(2) 生徒の「命を大切にす る心」を育みます。 (指標：講話、講演会等の実施)</p> <p><b>【生徒指導】</b></p> <p>(1) 挨拶を励行し、生徒の状況を把握するために、毎日の登校 指導を行います。 (指標：毎日の登校指導の実施)</p> <p><b>【学級指導】</b></p> <p>(1) 生徒の心に響き、自身のあり方・生き方を考える人権学習 をすすめます。 (指標：本音で語るができる人権学習の実施)</p> <p><b>【保健・安全】</b></p> <p>(1) 健康について啓発をすすめるため、保健だよりを発行し、 保健指導を行います。 (指標：保健だよりを年6回発行、集会等での講話)</p> <p>(2) 校内の安全面からの巡視を行います。 (指標：校内巡視の実施)</p>	<p><b>【命を大切にす る教育】</b></p> <p>中間・年度末に記載</p> <p><b>【生徒指導】</b></p> <p>中間・年度末に記載</p> <p><b>【学級指導】</b></p> <p>中間・年度末に記載</p> <p><b>【保健・安全】</b></p> <p>中間・年度末に記載</p>	
キャリア教育 の充実	<p><b>【進路指導】</b></p> <p>(1) 生徒一人ひとりの適性や希望を考慮しつつ、小規模校の強 みを生かして、きめ細かな進路指導を行います。 (指標：ハローワーク・全日制進路指導部と連携し、個別面 談を実施)</p> <p>(2) 生徒の職業意識を高めるとともに、求人情報の提供や進路 相談を通して、就労への意識を高めます。 (指標：求人広告の掲示、ハローワーク・全日制進路指導部 との連携)</p>	<p><b>【進路指導】</b></p> <p>中間・年度末に記載</p>	

学習指導の充実	<b>【教科等指導】</b> (1) 生徒の基礎学力の定着のため、教育課程や授業内容の工夫と改善をはかるとともに、適切な学習目標を生徒と共有しながら、目標達成のための指導を行います。 (指標：公開授業、教員間の授業見学の実施) (2) 単位制・定通併修などの制度について、生徒・保護者への周知をはかります。 (指標：説明会や個別面談を通じた説明の実施) (3) 「わかる授業」をめざし、1人1台端末の活用をテーマにした授業改善の取組を行います。 (指標：生徒ニーズアンケートの計画的実施による結果分析・共有と改善)	<b>【教科指導】</b> 中間・年度末に記載	
帰属意識の育成	<b>【教科等指導】</b> (1) 総合的な探究の時間や学校行事等を活用し、地域に対する愛着を育むとともに、本校生徒としての誇りを育てます。 (指標：学校行事等に参加する生徒の増加) (2) 主体的、対話的で深い学びをすすめ、ともに学ぶ仲間を大切にする態度を養います。 (指標：授業でペアワーク、グループワークを行う)	<b>【教科指導】</b> 中間・年度末に記載	
改善課題			
年度末に記載			

## (2) 学校運営等

項目	取組内容・指標	結果	備考
教職員の資質向上・チームワークの向上	(1) コンプライアンス意識向上の取組を進めます。 (取組状況の指標：国や県からの通知や新聞記事等を回覧し、教職員間で対話を行う) (指標：毎回の職員会議で校外の事例を共有) (2) 教員間の情報交換会を実施します。 (指標：毎日の打合せ、職員会議等で情報交換を実施)	年度末または適宜記載	
地域との信頼関係の深化、情報提供による信頼の構築	(1) 中学校との連携を深め、地域へ積極的に情報発信します。 (指標：新入生の出身中学校訪問等の実施) (指標：熊野教育支援センター、子ども家庭総合支援室との連携) (指標：授業公開、学校見学会の実施)	中間・年度末に記載	
保護者との連携、学校の帰属意識の育成	<b>【個別面談】</b> (1) 個別面談を計画的に実施します。 (指標：担任による個別面談の実施)	中間・年度末に記載	
働きやすい職場環境	(1) 業務の効率化を図り、休暇取得を促進し、総勤務時間を縮減します。 (指標：夏季休暇以外の特休及び年休取得(4～1月)の合計日数の平均16日以上) (指標：毎日の定時退校) (指標：60分以内に終了する会議の割合100%) (指標：時間外在校等時間が年360時間を超える教職員数0人)	中間・年度末に記載	

	(指標：時間外在校等時間が月45時間を超える教職員の延べ人数0人) (指標：1人当たりの月平均時間外在校等時間30時間以下)	
--	---	--

改善課題		
------	--	--

年度末に記載		
--------	--	--

### 5 学校関係者評価

明らかになった改善課題と次への取組方向	
---------------------	--

	年度末に記載
--	--------

### 6 次年度に向けた改善策

教育活動についての改善策	
--------------	--

	年度末に記載
--	--------

学校運営についての改善策	
--------------	--

	年度末に記載
--	--------